



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和8年 2月 2日
第 12 号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

挑 戦

校長 長岡有実子

第25回冬季オリンピックが、2月6日から2月22日まで、イタリアのミラノとコルティナ・ダンペッツォを中心に開催され、8競技116種目のパフォーマンスが繰り広げられます。念願のオリンピックに出場できる選手にとっては、世界大会に出場したことのある人にとっても、オリンピックは特別であるとよく聞きます。アスリートの競技人生の中でも4年に一度のチャンスで、それぞれ必死の思いで出場権をつかんだことでしょう。ここからはコンディションが万全にして試合に臨むことと思いますが、出場するすべての選手が、これまでの練習の成果を存分に発揮して、笑顔の結果となることを願い、そのパフォーマンスを楽しみにしています。

さて、世界で活躍している方々には共通する姿勢があります。それは「挑戦」する姿勢です。何かに取り組む上で、誰でもできることなら失敗はしたくないものですが「失敗しても挑戦してみることに価値があるのだ」ということを語っている人がいました。それは、元プロ野球選手でメジャーリーグでも大活躍した野茂 英雄（のも ひでお）投手です。今でこそ、大谷翔平選手はじめ、多くのメジャーリーガーが大活躍している時代となりましたが、野茂さんはある意味でその道の開拓者ともいえる人ですが、「挑戦」についてこう語っています。「挑戦すれば、成功もあれば失敗もあります。でも挑戦せずして成功はありません。何度も言いますが挑戦しないことには始まらないのです。」つまり、挑戦している時は誰も一度や二度は失敗するけれどそれを恐れず成功するまで挑戦し続けることが大切だということです。また、「挑戦した結果での失敗は、挑戦し続けている限り失敗とは言わない」と言う人もいます。

挑戦すれば、成功と失敗のどちらかの結果がありますが、挑戦せずしてやらなかった後悔より、やって失敗したことの方が、気持ちにも区切りがつくということはある話です。日々の生活の中でも、判断し、時には大きな決断をする場面は出てきますが、これまでの自分を振り返り、冷静に判断して、勇気をもって挑戦することはとても大切なことであるといえるでしょう。

3年生は進路選択という大一番がありますが、最後まで準備を怠らず、自分の決めた道を歩んでいけるよう願っています。2年生は館岩自然の教室、1年生は上野浅草校外学習と大きな行事を控えています。一人ひとりの挑戦と、その結果、一人ひとりの成長と学年としての成長を感じられるよう頑張ってもらいたいと願っています。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校